

規制基準の遵守状況の把握のための記録・保存の項目(案)

1 届出施設

1. 記録年月日
2. 記録者
3. 採用しているVOC対策の内容により、下表に掲げる項目

区分	VOC対策内容	主たる発生源	記録項目(例) 1,2	記録頻度(例)	
設備構造基準	設備(処理装置等)	吸着式処理装置	塗装、印刷、接着	吸着剤の交換の実施状況	交換の実施時
		燃焼式処理装置	塗装、印刷、接着	燃焼室の温度	週1回以上
		凝縮式処理装置	クリーニング、 溶剤洗浄、製造	冷却水の温度・流量	週1回以上
		蒸気返還設備	地下タンク (給油所)	ガソリン受入時における蒸 気返還設備の使用状況	ガソリンの受 入時
		薬液吸収式処理装 置	貯蔵、出荷、製造	薬液の使用量又は循環量	週1回以上
		その他の処理装置 (上記と同等以上 の性能を有するも の)	-	処理装置の原理・特性に応 じてVOCの適正処理を確 認する上で適当な指標 (例:回収装置の場合の溶 剤の回収量)	-
	構 造	密閉式構造	製造、溶剤洗浄	亀裂・漏洩箇所の有無等の 目視点検結果	週1回以上
浮屋根式構造等		貯蔵	貯蔵施設の点検又は補修の 結果	点検・補修の 実施時	
原料 使用 基準	有機溶剤含有率が 一定割合以下の塗 料、接着剤、イン キの使用	塗装、印刷、接着	溶剤含有率 (成分表、MSDS等による)	原材料の購入 時及び使用時	

- 1 処理装置の場合は、VOCの処理状況を示す適当な指標がある場合は、上記項目に代えることができる。(例:処理装置入口・出口でのVOC濃度測定による処理効率の確認等)
- 2 処理装置の場合は、排ガスが処理装置に確実に導入されていることを確認するため、処理装置入口での排ガス静圧も併せて記録しておくことが望ましい。

4. その他参考事項

届出施設等の使用状況等(処理装置を設置している場合は処理装置を含む。)

届出施設等の稼働時間

工場におけるVOC(又はVOCを含む原材料)の取扱量(製造量、使用量、受入れ又は出荷量等)

2. 届出工場（大規模塗装工場）

1. 記録年月日
2. 記録者
3. 下表に掲げる項目

区分	記録項目	併せて記録しておくべき事項		頻度
		VOC排出量の算出に用いた方法	記録項目（例）	
届出工場 全体に係る VOC許容 排出量	届出工場に 係るVOC 排出量	排出ガス測定結果から算出する方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 排出ガス量 ・ 排出ガス中のVOC濃度 	年1回以上。
		物質収支から算出する方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対象施設別又はライン毎の塗料・溶剤の使用量 ・ 塗料中の有機溶剤含有率 ・ 排ガス処理効率 	月1回以上、又は一連の製品生産期間等左記項目を把握しやすい期間毎に1回。
		単位塗装量当たりのVOC排出量原単位から算出する方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対象施設別又はライン毎のVOC発生原単位 ・ 塗装作業量(塗装面積等) ・ 排ガス処理効率 	
		その他の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 採用した手法で算定に用いる項目 	

排ガスの処理効率はVOC濃度の実測を行う等、年1回程度実証確認を行うこと。

4. その他参考事項

届出工場に係る対象施設等の使用状況等（処理装置を設置している場合は処理装置を含む。）

対象施設、ライン等の稼働時間

対象施設、ライン等におけるVOC（又は塗料、溶剤）の使用量